

※著作権取得済み

障害者雇用に貸し農園 企業向け、長久手に開設



野菜づくりに励む障害者ら

障害者の就労拡大を目指す企業向け貸し農園「ソーシャルファーム わーくはぴねす農園 あいち長久手」が、長久手市茨ヶ廻間に開設された。障害者は同農園を借り受けた企業に直接雇用され、就労の場を得ることができる。

同農園は、障害者雇用の

コンサルタント会社「エスプールプラス」（東京都）が運営。障害者は、各企業の農園で野菜づくりを行い、障害者をサポートするシニアや主婦らも雇用される。

市が2020年、障害者や障害者団体などに行ったアンケートで「障害の特性

にあった職業や雇用の拡大」を要望する意見が6割に上った。このため、市は、同社と障害者の就労支援に向けた協定を結び、今月1日に同園が開設された。同園は面積約1万平方メートルで、ビニールハウスや休憩棟などを設けた。11社が参加し、障害者75人、シニアら25人の就労を目指している。

18日の視察会では、障害者による農作業などが紹介された。障害者3人を雇用した名古屋電機工業（あま

市）の中北洋・人事部長は「みんな地道に努力し、一生懸命に仕事をしている。一人一人の特性を伸ばし、ともに学んでいきたい」と話した。同社に雇用された名古屋市の田村総則さん（54）は「農作業は初めて。コツコツと土に向かう仕事は向いている。楽しい仕事に就けて良かった」と野菜の世話に励んでいた。